

産業振興

主な事業と予算額

○第4回産業まつりの開催	891
○水田営農活性化対策事業補助	2,449
○経営規模拡大促進特別対策事業補助	400
○農業制度融資利子補給	3,200
○園芸施設化促進緊急対策事業補助	1,350
○水田多面的利用促進事業補助	800
○商店街活性化(イベント)事業助成	145
○商店街近代化促進事業補助	499
○観光協会補助	376

農業

ガット・ウルグアイ・ラウンド農業交渉の決着の行方が注目される中で、国の新農政プランが公表され、施策が具体化されようとしています。これらの動向を注視し、白根市農業振興計画に沿った施策を展開します。

収益性の高い転作を推進

水田農業確立後期対策が終了し、今年度から新しい米需給対策として、水田営農活性化対策がスタートします。収益性の高い転作の定着化と、他用途利用米など多様な米需要に対応した転作を推進します。

集落座談会を開催

農業生産額の増大のため、年間を通じて農業生産ができる体制の整備と、園芸生産の拡大を図ります。そのため、地域農政推進対策事業を活用し、集落座談会などを開催し、農業の体質強化を図ります。

経営規模拡大を支援

稲作の低コスト安定生産のため、経営規模の拡大を志向する農家に助成策を講じ、生産組織

の育成を図ります。また、「ハイルンク白根米」生産運動を引き続き展開します。消費者から求められているおいしく、より安全な米の供給に努めるため、高品質米の安定供給を目標に運動を展開していきます。

白根ブランド確立に努力

園芸部門では、他産地に負けない産地の育成を目標に、農協など関係機関と連携の下、生産出荷組織の統一を推進し、白根ブランドを確立します。担い手の高齢化、労力不足などに対処するため、機械化・施設化を積極的に推進します。

また、全国桃研究大会が本市で開催されることから、産地のPRと生産意欲増大のため、同大会を支援します。

商工労働

景気が低迷する中、経済の動向を見極め、地域商工業の発展と活性化に努めます。

地元就職を促進

人材の確保と雇用の安定を促進します。新津公共職業安定所の協力で「ハロー・ワークトピア・しろね」を引き続き開設し

ます。また、新規卒業者の、市内企業への就職を促進するため、就職ガイドを作成します。

商店街環境整備を実施

相次ぐ大型店の出店、消費者ニーズの多様化など、商業環境は厳しい対応を迫られています。こうした状況から、商店街環境施設整備促進事業の活用を図り、買い物や快適にできる環境づくりを推進します。さらに、中小企業近代化資金の貸付限度額を引き上げ、地元商工業の近代化と経営の安定に努めます。

また、商店近代化相談事業を引き続き実施し、個人商店の近代化を図ります。さらに、市内各商店会が実施しているイベント事業や商店街近代化促進事業に対する助成を強化。既存商店街の活性化と集客能力を高め、消費者の定着を目指します。

観光開発を推進

観光開発の推進と掘り起こしに努めます。そのため、推進の核となる観光協会の組織を拡充。風合戦や果樹観光、六年度オーブン予定の「しろね大風と歴史の館」の宣伝に努めます。また、本市特産品をPRする展示即売会の開催や研修会などに助成し、地場産業の振興を図ります。

教育

主な事業と予算額

(単位:万円)

○中学校パソコン導入事業	5,192
○いきいきスクール推進事業	570
○小中学校教材備品	2,012
○小中学校施設整備	4,380
○生涯教育推進事業	209
○中央公民館事業	341
○地区公民館事業	639
○図書館整備管理費の拡充	1,151
○カルチャーセンター事業(委託)	957
○生涯スポーツ振興事業	320
○青少年教育費	378
○教育センター施設整備	330

学校教育

二十一世紀に向け、新しい時代に対応できる人づくりが学校教育に求められています。国際化や情報化が進む中であって、心豊かな創造性に富む児童・生徒の育成に努めます。

施設整備を計画的に実施

学校施設整備は、白井小学校の建設に着手するほか、白根第一中学校体育館の窓枠改修工事などに取り組みます。各学校の営繕管理、木造老朽校舎の改修整備を継続的、計画的に実施します。

特色ある教育課程を編成

小学校では前年度から、体験的な学習を重視し、児童の意欲や個性を伸ばす新学習指導要領が実施されています。中学校でも今年度から、新学習指導要領が実施されます。こうしたことから、地域や学校の実態に即した特色ある教育課程を編成し、教育の充実を図ります。

県で前年度から実施している「いきいきスクールプロジェクト事業」。前年度指定の大鷲小学校のほか、今年度は小学校三校(新飯田、白根、大通)、中

社会教育

生涯学習社会の形成を目指し、市民の生涯各期にわたる学習活動を推進します。社会教育全般について市民意識調査を実施し、市民の要望を把握します。

生涯学習活動を推進

生涯学習社会の実現を、公民館を拠点とし進めます。市民のニーズに沿った、生涯各期にわたる学習情報と学習の場を提供します。各地区公民館を核として、生涯学習を通じた地域づくりを推進します。

歴史資料の収集を実施

芸術文化の振興として、各種活動の発表機会提供と奨励、伝統芸能を支援するなどの施策を推進します。「しろね大風と歴史の館」の建設に併せ、既存資

閲覧室に冷房を設備

図書館は、利用者サービスの向上に努め、閲覧室の冷房設備など施設の整備を実施します。生涯学習の拠点施設の一つとして、市民から親しまれ、利用の輪が広がるように努めます。

次代を担う青少年を育成

青少年活動は、青年教育センターを拠点に、青年の創造性、連帯感、協調性を生かした事業を推進します。また、学校週五日制などに対応し、各地区の推進体制を支援しながら、次代を担う青少年の育成に努めます。

生涯スポーツを推進

カルチャーセンターは、本市唯一の多目的施設として市民に定着しています。さらに市民に親しまれ、楽しく利用されるよう管理運営に努めます。また、社会体育施設や学校体育施設を一般開放。生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を推進し、明るく健康で豊かな市民性が培われるよう努力します。